



新生交通少年団始動

隔照燈

その立場立場ではなくてはならぬ人になる

発行
平戸市立平戸小学校
文責 校長 永田健治

児童数 347名
教職員数 34名

創立149周年

発行：平戸市立平戸小学校 〒859-5121 平戸市岩の上町1509番地 TEL：0950-22-9230
E-mail：hirado-syc@educet03.plala.or.jp ホームページ：平戸市立平戸小学校で検索

全学年揃って 感動の卒業式

卒業生も在校生も素晴らしい、



3月19日（火）、第19回卒業証書授与式を挙行しました。

当日は、貞方統括監様、道添PTA会長様市議会議員様はじめたくさんのご来賓の方に御臨席いただきました。

また、今年度は5年ぶりに全校児童、御臨席の皆さんに卒業証書を授与しました。



卒業生は厳粛で凛とした雰囲気の中、卒業証書授与の後、一人一人、将来の夢を堂々と発表しました。

校長式辞では卒業生に校訓のひとつ、「負けるな」という言葉に込められた思いについて話をしました。

（前略）「『負けるな』とは、人に負けるなどというよりも、自分自身に負けるなど言っているのです。嫌なことやうまくいかないこと、いろんな困難があっても、周りのせいにする自分の心に負けないで、あきらめず乗り越えようということなんです。私

たちは、うまくいかないことに対して、つい、周りのせいにしてしまいうことがありません。自分には悪くない、悪いのは全て周りのせいだ。自分以外の人や物事のせいにするので、解決を図ろうとしてしまいません。でも根本的なことが解決されませんから、また、同じことを繰り返してしまいます。

そうならないために、うまくいかないことがあつたとしても人のせい

にだけするのはなく、自分自身の問題点も改善していくことで、真の解決につながることを考えます。

でも、どんなに頑張っても、どんなに努力しても、くじけそうになる、負けてしまおうになることがあります。そんなときは、助けを求めます。周りを頼っていいのです。

助けを求めるとは『負けること』ではありません。みんなの力で困難を乗り越えるということなんです。そのために、皆さんの周りに帰れば、皆さんを一番理解してくださる家族、そして地域の方々がいてくれるので

『負けるな』とは、周りの力を借りて、困難を乗り越えよう、という思いも込められているのです。」



（後略）
卒業生の皆さんの中学校でのさらなる飛躍を祈念しています。

シューズの統一



新1年生から、学校で使用している種類のシューズのみを使用しています。

在籍生の使用しているシューズにつきましては、これまで使用している2種類のシューズ（教室用、体育館用）の併用を継続、または現在使用している体育館シューズのみ使用してもかまいません。使用中の教室用の上履きシューズを買い換える必要になった場合に、体育館シューズのみに移行していただきますようお願いいたします。

一年を振り返って

保護者の皆様、地域の皆様、令和5年度も本校学校教育活動に對しまして、御理解、御協力いただきありがとうございました。

職員一同、学校教育目標「豊かな心を持ち、自ら考え行動できる、たくましい子供を育成する」を掲げ、笑顔があふれる学校づくりに尽力して参りました。

おかげさまで、児童の命にかかわるような大きな事故、事件もなく今年度を終えることができました。

学校内での生活指導や教職員の対応について行き届かない面もありましたが、常に、家庭がやるべきことをしっかり共通理解して、子供を主語にした改善策に取り組めたことが大きな理由であると考えています。

子供のよりよい成長のために学校、保護者が連携、協力できる関係継続、充実してまいります。

令和6年度もよろしくお願いたします。